

山国川水系河川整備計画【変更原案】と山国川水系河川整備計画【変更案】  
追加修正箇所対比表

平成25年6月

国土交通省九州地方整備局

# 河川整備計画【変更原案】と河川整備計画【変更案】との対比表

<p>意見：H24.7出水の被災箇所は、従来の整備計画における整備予定箇所も含まれていたことや、整備が完了していたら被害は軽減できたことを記載してほしい。(学識者懇談会)</p>	<p>対応：案に反映。</p>
---	-----------------

<p>山国川水系河川整備計画【変更原案】 P15</p>	<p>山国川水系河川整備計画【変更案】 P15</p>
<p>(1)洪水対策                      山国川では昭和23年から国管理河川として河川改修を進めてきており、平成24年4月時点で、約79%の堤防が完成しています。しかし、中津市の曾木地区(河口から16.4km付近)より上流区間では、堤防未整備区間が多く残っているのが現状です。平成5年9月洪水の際には、この堤防未整備区間から河川の水があふれ、家屋が浸水する等の被害が発生したため、築堤護岸工事を実施しているところですが、平成24年7月洪水の際においても、堤防未整備区間から河川の水があふれ、多くの家屋が浸水する被害が発生しています。また、横断工作物等により河川水位が上昇する箇所も見られるなど、未だ既往の洪水に耐えうる状況とはなっていません。</p>	<p>(1)洪水対策                      山国川では昭和23年から国管理河川として河川改修を進めてきており、平成24年4月時点で、約79%の堤防が完成しています。しかし、中津市の曾木地区(河口から16.4km付近)より上流区間では、堤防未整備区間が多く残っているのが現状です。平成5年9月洪水の際には、この堤防未整備区間から河川の水があふれ、家屋が浸水する等の被害が発生したため、築堤護岸工事を実施しているところですが、平成24年7月洪水の際においても、堤防未整備区間から河川の水があふれ、多くの家屋が浸水する被害が発生しています。<b>なお、これらの区間には、平成22年策定の「山国川水系河川整備計画」で堤防整備を予定していた区間も含まれません。</b>また、横断工作物等により河川水位が上昇する箇所も見られるなど、未だ既往の洪水に耐えうる状況とはなっていません。</p>

## 河川整備計画【変更原案】と河川整備計画【変更案】との対比表

<p>意見：景観に配慮するしくみをつくるとともに、その旨を本文へ記載してほしい。(学識者懇談会)</p>	<p>対応：案に反映。</p>
--	-----------------

山国川水系河川整備計画【変更原案】 <span style="float: right;">P46</span>	山国川水系河川整備計画【変更案】 <span style="float: right;">P46</span>
<p>(2)名勝耶馬溪及び耶馬日田英彦山国定公園の歴史・文化・景観等の保全                      名勝耶馬溪、耶馬三橋及びメイプル耶馬サイクリングロード(旧耶馬溪鉄道跡)等の歴史・文化・景観資源等については、関係する文化・景観部局等の機関と連携し、歴史・文化・景観等の価値を損なわず、利用促進が図られるような整備に努めます。さらに、地域活性化のために地元自治体が計画策定や整備を行う場合には、その活動を支援します。                      また、堤防等の整備を行う際は、これまでの工事等の前例にならい、「川筋(岩河床)」及び「周辺の奇岩」と「構造物(堤防、護岸等)」との調和を図り、山国川の昔ながらの素朴な風景を後世に残せるように、住民、学識経験者、関係機関等の意見を聴きながら計画や施工を行うなど、景観に配慮した整備に努めます。</p>	<p>(2)名勝耶馬溪及び耶馬日田英彦山国定公園の歴史・文化・景観等の保全                      名勝耶馬溪、耶馬三橋及びメイプル耶馬サイクリングロード(旧耶馬溪鉄道跡)等の歴史・文化・景観資源等については、関係する文化・景観部局等の機関と連携し、歴史・文化・景観等の価値を損なわず、利用促進が図られるような整備に努めます。さらに、地域活性化のために地元自治体が計画策定や整備を行う場合には、その活動を支援します。                      また、堤防等の整備を行う際は、これまでの工事等の前例にならい、「川筋(岩河床)」及び「周辺の奇岩」と「構造物(堤防、護岸等)」との調和を図り、山国川の昔ながらの素朴な風景を後世に残せるように、<b>設計や施工を行うための仕組みづくりを行い</b>、住民、学識経験者、関係機関等の意見を聴きながら<b>協働し</b>、景観に配慮した整備に努めます。</p>

# 河川整備計画【変更原案】と河川整備計画【変更案】との対比表

<p>意見：公助による防災には限界があることから、国として、自助、共助を含めた減災へ如何に寄与できるかが重要である。このこと(自助、共助への寄与)について本文へ記載してほしい。(学識者懇談会)</p>	<p>対応：案に反映。</p>
--	-----------------

山国川水系河川整備計画【変更原案】 P65	山国川水系河川整備計画【変更案】 P65
<p>8)危機管理            計画規模を上回る洪水や整備途上段階で施設能力以上の洪水が発生し、はん濫した場合においても、被害を最小限に止めるためには、過去の被災経験や現状を十分に踏まえ、住民と関係機関とが相互に連携、協力し、危機管理体制を確立することが重要です。            このため、洪水はん濫等により流域の人々の生命・財産に被害が生じる恐れのある場合には、自治体首長の避難勧告または指示、及び住民の避難活動等が適切かつ迅速にできるように関係機関や住民へ河川情報の提供を行うとともに、県境にあるヘリポートを有効活用して、県や市町を越えた活動に活用することにより、枠組みを超えた活動に対応出来るようになっていきます。堤防未整備区間からの溢水や内水はん濫により沿川道路が浸水した場合には、速やかに道路管理者が通行止め等の対応を図られるよう、日頃から、関係機関との連絡体制の充実に努めます。            また、・・・</p>	<p>8)危機管理            計画規模を上回る洪水や整備途上段階で施設能力以上の洪水が発生し、はん濫した場合においても、被害を最小限に止めるためには、過去の被災経験や現状を十分に踏まえ、住民と関係機関とが相互に連携、協力し、危機管理体制を確立することが重要です。            このため「<b>自助・共助・公助</b>」が連携して、洪水はん濫等により流域の人々の生命・財産に被害が生じる恐れのある場合には、自治体首長の避難勧告または指示、及び住民の避難活動等が適切かつ迅速にできるように関係機関や住民へ河川情報の提供を行うとともに、県境にあるヘリポートを有効活用して、県や市町を越えた活動に活用することにより、枠組みを超えた活動に対応出来るようになっていきます。堤防未整備区間からの溢水や内水はん濫により沿川道路が浸水した場合には、速やかに道路管理者が通行止め等の対応を図られるよう、日頃から、関係機関との連絡体制の充実に努めます。            また、・・・</p>